

「研究開発段階発電用原子炉安全設計方針検討会」の設置について

平成 25 年 8 月 12 日（初版）

平成 25 年 8 月 29 日（改 1）

平成 25 年 9 月 27 日（改 2）

日本原子力学会 新型炉部会

1 背景

新型炉部会では、「新安全基準勉強会」を組織し、原子力規制委員会が作成した規制基準案に対して、5月9日にパブリックコメントを提出した。その後、6月12日の原子力規制委員会本会議にて、研究開発段階発電用原子炉に対する規制基準については「今後、安全審査を行うまでに、パブリックコメントによる意見も含め改めて検討し基準を見直すこととし、今回は修正を行わない。」とされた。6月19日の原子力規制委員会本会議で提示された研究開発段階炉に対する規制基準は、「軽水炉の新基準（地震・津波の基準を含む）をベースとして、旧原子力安全委員会が定めた『高速増殖炉の安全性の評価の考え方』の要求事項を加える等により策定したもの」であるが、上記のとおり、今後見直し検討が必要な状況である。

原子力規制委員会では、これまで発電用原子炉及び試験研究炉に対する規制基準は外部有識者で構成される検討チームを組織し、規制基準案の検討を重ねた。一方、研究開発段階発電用原子炉に対する規制基準については、検討チームをまだ組織していないことから、今後、検討チームを発足させ検討を始めるものと考えられる。

2 設置目的

原子力規制委員会で発足されると思われる検討チームにおける規制基準検討に資することを目標とする。そのため、新型炉部会として、研究開発段階発電用原子炉に対する安全設計の考え方を整理することを目的として、「研究開発段階発電用原子炉安全設計方針検討会（略称：研開炉検討会）」を設置する。

3 進め方

第1回検討会に論点を摘出し、第2回検討会以降に論点を議論していく。年末を目途に提言内容をまとめしていく。

4. 開催頻度と期間

原則、毎月実施することとし、設置期間は平成26年3月までとする。

5. 委員構成

新型炉部会メーリングリストで呼びかけて幅広く参加者を募り、オープンとする。

6. 予算

合計:124,000 円

会場費は関係組織の会議室を使用する。

旅費は原則部会員負担とするが、遠方から参加される部会員に対しては上記範囲内で旅費を負担できるものとする。

以上